

新たな宮城県環境基本計画における管理指標（案）

宮城県環境生活部環境政策課

1 前回の専門委員会議等における委員からの意見等の概要

- 大気汚染に関連する（自動車）排ガスなど、継続的な評価が必要なものについては、これまでに達成された、或いは他の計画で管理されるものだとしても、環境基本計画にも設定してよいのではないか。
生活環境の管理指標について、県内で光化学オキシダントの環境基準が未達成となっているため、その原因物質を指標として取り入れてはどうか。
- 施策と管理指標の1対1対応は難しいと思うが、それぞれの指標がどの政策に結びついているかわかるように整理すると管理しやすいのではないか。
- 管理指標案のうち、「廃棄物排出量」について、経済環境がよくなったり業務量が増えると廃棄物量も増える傾向にあると思う。この指標とともに「売上高あたり」等の指標も検討してはどうか。
- 県が何もしないでも達成したことになるような指標ではなく、県が努力して達成するものを管理指標とすべきである。また、県民の感覚と乖離するものは避けることや、目標値を設定して、それを達成率で評価する方法にすることに留意願いたい。
- 政策3の管理指標について、成果を表す指標というのは難しい。良いとは思わないが、替わるものとなるとなかなか難しい。森林を例にしても、量と質（どういう森が良い森なのか等）の問題がある。

2 意見も踏まえた対応等（管理指標の検討に関する県の考え方）（案）

(1) 指標候補の選定

- 関連する環境関連分野別個別計画における目標や進行管理上の指標項目、県総合計画（現行）に基づく政策評価上の指標項目等を参考に、各政策分野の施策との関連性を考慮して選定する。
- さらに、できるだけ、県民や事業者を含めてすべての主体が、「取組に参加」「行動」した結果が反映されうるものであることを意識して検討する。
- その中では、「望ましい姿に維持型」「望ましい姿に向上型」等が出てくるが、取組による成果（動き）が数値として把握（定量化）できるもので、かつ、一過性で終始するものではないものとする。

(2) 指標項目の数値化と進捗状況の評価

- 計画の進捗状況の把握に当たっては、各管理指標の実数をわかりやすい形での把握とし、目標（最終目標又は最終目標からの目安とした年次目標）に対する「達成状況」で評価する。
- 各管理指標の達成状況をそれぞれランク付けし、全体の状況を総括する方法とする。
そのため、現行計画で採用しているような、各管理指標の状況をさらに10点満点で評価し直す、といった方法はとらない形とする。

3 次期環境基本計画での管理指標（案）

政策分野	指標項目（案）			現行計画	新規	候補選定の理由等
1 脱炭素社会の構築	1	県内の温室効果ガス排出量	GHG	千 t -CO2	○	現行計画の管理指標 ※地球温暖化対策実行計画目標
	2	再生可能エネルギー導入量	再エネ	TJ	○	現行計画の管理指標 ※再エネ・省エネ計画の目標のひとつ
2 循環型社会の形成	3	県民一人一日あたりの一般廃棄物排出量	ごみ	g/人・日	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
	4	一般廃棄物リサイクル率	ごみ	%	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
	5	一般廃棄物最終処分率	ごみ	%	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
	6	産業廃棄物排出量	産業廃棄物	千 t	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
	7	産業廃棄物リサイクル率	産業廃棄物	%	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
	8	産業廃棄物最終処分率	産業廃棄物	%	○	現行計画の管理指標 ※循環型社会形成推進計画の目標
3 自然共生社会の形成	9	豊かな自然環境の保護・保全を目的とした指定地域の県土面積に占める割合	自然環境の保護・保全(面的な量の確保)	%	○	現行計画の管理指標 ※自然環境保全基本方針の目標 ※生物多様性地域戦略(改訂案)での指標のひとつ ※行政評価 政策12 施策29 豊かな自然環境, 生活環境の保全での指標
	10	豊かな生態系(森林・農地・水辺環境の保全)	生物多様性の保全(質的な確保)	点	○	現行計画の管理指標 ※水循環保全基本計画の目標 ※生物多様性地域戦略(改訂案)での指標のひとつ
	11	<u>間伐を行った面積(民有林)</u>	生物多様性の保全, 吸収源整備, 連携・協働	ha	○	現行計画の管理指標(未間伐面積)からの変更 ※行政評価 政策11 施策27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献での指標(間伐による二酸化炭素吸収量)を参考 ※生物多様性地域戦略(改訂案)での指標のひとつ
	12	<u>農村の地域資源の保全活動(注)を行った面積</u>	地域資源や景観の保全, 地域の協働・連携	ha	○	※行政評価 政策13 施策30 住民参加型の社会資本整備や良好な景観の形成での指標 ※生物多様性地域戦略(改訂案)での指標のひとつ (注)対象となる活動: ・中山間地域等の条件不利地において, 農地の荒廃等を防ぎ, 多面的機能を継続的・効果的に発揮させるための農業生産活動及びサポート体制の構築支援 ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発展を図るため, 地域内の農業者等が共同で取り組む地域活動の支援
	13	<u>主要な都市農山村交流拠点施設(農林漁家民泊, 農林漁家レストラン, 農産物直売所)の利用人口</u>	観光への活用・交流・自然資本の価値創造	万人	○	※行政評価 政策2 施策5 地域が潤う, 訪れてよしの観光王国宮城の実現での指標
4 安全で良好な生活環境の確保	14	<u>一般大気環境測定局及び自動車排ガス測定局における二酸化窒素の環境基準達成率</u>	大気環境	%	○	二酸化窒素が, 全県的に環境基準を超過している光化学オキシダントの主要原因物質のひとつ
	15	<u>大気中の揮発性有機化合物(ベンゼン, トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, ジクロロメタン)の測定点における環境基準達成率</u>	大気環境	%	○	揮発性有機化合物が, 全県的に環境基準を超過している光化学オキシダントの主要原因物質のひとつ
	16	道路に面する地域における自動車交通騒音の環境基準達成率	自動車騒音	%	○	現行計画の管理指標
	17	清らかな流れ(水質環境基準の達成率) ⇒ <u>水質環境基準達成率(BOD/COD/TN/TP)</u>	水質	%	○	現行計画の管理指標 ※水循環保全基本計画の目標 ⇒(事務局)見せ方の変更: ・ <u>指標項目を直接わかりやすいものに</u> ・ <u>達成度合での表示へ</u>
	18	豊かな流れ(平常時の河川流量の豊かさ)	水量	点	○	現行計画の管理指標 ※水循環保全基本計画の目標

(注) 関連する個別計画で今後に見直し作業が進められるものが複数あり, 引用している管理指標候補に変更等が生じる可能性があることから, 上表は現時点での候補案である。